

(別添)

財政状況等一覧表（平成18年度）

(百万円)

団体名 兵庫県 赤穂市

標準財政規模 (A)	臨時財政対策 債発行可能額 (B)	合計 (A)+(B)
11,655	491	12,146

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの） (百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの 繰入金	備考
一般会計	19,751	19,540	211	211	28,964	14	基金から454百万円繰入
墓地公園整備事業特別会計	10	10	0	0	—	—	
土地区画整理事業清算金特別会計	13	13	0	0	—	—	
普通会計	18,871	18,660	211	211	28,677	—	基金から454百万円繰入

2 1以外の特別会計の財政状況（公営企業を含む公営事業会計に係るもの） (百万円, %)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	<法適用以外> 形式収支	純損益 (実質収支)	企業債(地方 債)現在高	他会計からの 繰入金	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
水道事業会計	902	878		24	2,137	14	104.4	—	—	法適用企業
病院事業会計	9,019	9,138		△ 119	12,228	616	98.9	—	2,501	法適用企業
介護老人保健施設事業会計	254	259		△ 5	860	55	97.9	—	3	法適用企業
公共下水道事業	(歳入) 2,005	(歳出) 2,004	1	(実質収支) 1	11,239	581				※公共下水道事業特別会計 下水道用資産管理交付事業特別会計
特定環境保全公共下水道事業	(歳入) 780	(歳出) 780	0	(実質収支) 0	8,027	581				※公共下水道事業特別会計
農業集落排水事業特別会計	(歳入) 233	(歳出) 233	0	(実質収支) 0	2,682	197				
国民健康保険事業特別会計	(歳入) 5,296	(歳出) 4,993	303	(実質収支) 303	—	340				
老人保健医療特別会計	(歳入) 5,346	(歳出) 5,342	4	(実質収支) 4	—	400				
介護保険特別会計	(歳入) 2,634	(歳出) 2,450	184	(実質収支) 184	—	382				
駐車場事業特別会計	(歳入) 152	(歳出) 152	0	(実質収支) 0	1,507	124				

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
2. 法適用企業に係るもの以外については、「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「実質収支」を表示している。
3. 不良債務及び累積欠損金は、正数で表示している。

3 関係する一部事務組合等の財政状況 (百万円, %)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	<法適用以外> 形式収支	実質収支 (純損益)	地方債(企業 債)現在高	当該団体の負 担金割合	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
赤相農業共済事務組合	(総収益) 38	(総費用) 31		(純損益) 7	—	41.7	123.3	—	—	法適用企業
安室ダム水道用水供給企業団	—	—		—	1,496	—	—	—	—	法適用企業 繰出金65百万円
兵庫県後期高齢者医療広域連合	0	0	0	0	0	—	—	—	—	

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況 (百万円)

	経常損益	資本又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体から の債務保証に 係る債務残高	当該団体から の損失補償に 係る債務残高	備考
財団法人赤穂市公園施設管理協会	△ 1	52	50	14	—	—	—	
財団法人赤穂市文化振興財団	0	107	103	43	—	—	—	
赤穂駅周辺整備株式会社	2,837	24	23	—	—	—	—	
赤穂市土地開発公社	△ 36	443	5	—	135	4,991	—	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5 財政指数

財政力指数	0.72	実質収支比率	1.8%
実質公債費比率	22.0%	経常収支比率	90.3

(注) 実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3力年平均である。